

今年度の

「ごてんばの富士山豆博士」 884人が誕生

平成18年度から富士山基金の一部を活用した「ごてんばの富士山豆博士事業」を実施しています。平成19年度は884人の豆博士が誕生しました。ここでは今年度実施した4校の取り組みの様子を紹介します。

環境課 ☎(83)1603

富士岡小学校



▲駒門風穴を観察

3年生から6年生までの児童376人全員が学年ごとにテーマを決めて、総合学習で取り組みました。

【3年生】

「富士岡地区の地域を学ぶ」学習から、駒門の風穴、湧き水について調べました。また、富士山とのつながりを考え、分かったことを新聞にまとめました。

【4年生】

富士山のごみ問題に目を向け、その実態や守っていくべき自然などについて調べました。また、調べたことをクイズにして、富士岡小祭りで紹介しました。

【5年生】

富士山の植物に詳しい米山千晴さん、小曾戸恒夫さん、平川卓也さんを講師に迎え、須走口、小富士を一緒に散策しながら、富士山でしか見ることの出来ない植物などについて教えていただきました。

【6年生】

富士山測候所に勤務していた長田昭典さんを講師に迎え、講演会を開催しました。その講演を基に各自が課題を発見し、「調べ学習」を進めパンフレットを作成しました。

印野小学校

5年生13人全員が6つのテーマに取り組みました。

【富士山紹介ポスター作り】

一人ひとりが興味を持ったことについて調べ、富士山を紹介するポスターを作りました。

【富士山のことを英語で紹介】

英語活動で、知っている英語を使って富士山を紹介する表現を学習しました。また、オーストラリアの高校生に英語で富士山を紹介しました。

【富士山への手紙】

ごみ問題や世界遺産など富士山について感じていることを文章に表しました。

【富士山探検学習】

富士山資料館（裾野市）、須山お胎内及び駒門風穴を訪れ、理解を深めました。

【美しい富士山を撮る】

秋から、一人ひとりがカメラで気に入った富士山を撮り、思いを込めた一句を写真に添えました。

【木版画で表す】

木版画作品として、富士山をイメージした2色刷り版画を制作しました。



▲英語での発表



▲2月29日に行われた認定証授与式

「ごてんばの富士山豆博士事業」

富士山及び富士山麓の豊かな自然に触れ親しむことで、新しい発見をし、一人ひとりが「ごてんばの富士山豆博士」になることを目的とした事業です。各学校の特徴や地域性を生かして取り組むことにより、児童・生徒が身近な富士山の素晴らしさを再認識します。

平成18年度から21年度までの4年間にわたり、市内の小・中学校全16校において毎年4校ずつ実施します。次年度は、御殿場小学校、御殿場南小学校、朝日小学校、高根中学校で実施予定です。

《平成19年12月末 富士山基金残高》

73,429,729円

※今年度は豆博士事業のほか、富士山宝永噴火300年記念DVD作成事業にも活用されました。

原里中学校

1年生165人全員で「富士山を知り、富士山の気持ちになって考えよう」をテーマに取り組みました。

【富士山を知る】

歴史、動物、植物、環境、気候の5つについて、学年委員が問題を100問作成し、朝自習の時間を使い学習しました。

さらに、1月31日に「富士山原里中検定試験」を実施し、点数により1級から3級をつけ学年集会で表彰しました。

また、学年委員は総合学習のテーマを富士山とし、調べた内容を2月5日に行われた総合学習発表会で発表しました。

【富士山の気持ち】

11月に環境省環境カウンセラーの山口康裕さんを講師に迎え、富士山が現在直面している温暖化の影響についての講演会を開催しました。生徒から富士山についての素朴な質問がたくさん出て、富士山に対する興味がますます湧いてきました。



▲富士山をテーマとした総合学習発表会

西中学校



▲富士山でのバッコヤナギ植樹

全校生徒330人が富士山にかかわる行事や学習に取り組みました。

【バッコヤナギ植樹】

御殿場ライオンズクラブが主催する富士山へのバッコヤナギの植樹に2年生が協力しました。富士山の環境を守ることに身をもって体験することが出来ました。

【枝打ち体験・富士砂防事務所等の見学】

1年生は、富士山麓に植林したひのきの「枝打ち体験」を行いました。また、富士砂防事務所（富士宮市）及び富士山資料館へ行き、富士山についての理解を深めました。

【富士山をテーマにした遠足】

全校生徒が「富士山」をテーマにした6つの遠足コースを学年の枠を取り払い選択し、参加しました。また、五十雀山歩会の皆さんに計画段階から参加していただき、充実した遠足となりました。